

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第4区分

【発行日】平成22年10月21日(2010.10.21)

【公表番号】特表2010-518539(P2010-518539A)

【公表日】平成22年5月27日(2010.5.27)

【年通号数】公開・登録公報2010-021

【出願番号】特願2009-548600(P2009-548600)

【国際特許分類】

G 11 B 7/0065 (2006.01)

G 03 H 1/26 (2006.01)

【F I】

G 11 B 7/0065

G 03 H 1/26

【手続補正書】

【提出日】平成22年8月27日(2010.8.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ホログラフィックストレージ媒体に記録されたフーリエ・ホログラムをホログラフィックストレージシステムにより読み出す方法であって、該方法は、

a. 参照ビームとストレージ媒体との少なくとも2つの相対位置において、再構成されたフーリエ・ホログラムの検出された画像から特性値を計算し、ここで、それぞれの相対位置は、それぞれの相対位置での参照ビームとストレージ媒体との位置合わせズレを示しており、

b. 測定された特性値からサーボ値を計算し、

c. 計算されたサーボ値を用いて、予め決定されたサーボ関数によって参照ビーム及びストレージ媒体の整列した相対位置を決定し、

d. 参照ビーム及び上記ストレージ媒体の相対位置を整列した相対位置へ設定し、

e. 整列した相対位置で画像を検出する、

工程を備える、読み出し方法。

【請求項2】

上記フーリエ・ホログラムは、複数のデータ・コード・ブロックを備え、各データ・コード・ブロックは、データ・コード・ブロックのセットの一つである、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

特有の関数は、

【数1】

$$SNR = \frac{E(SNR_{block})}{E(SNR_{block}^2) - E(SNR_{block})^2}$$

として計算された信号対雑音比(SNR)関数であり、

ここで、Eは期待値関数であり、 SNR_{block} は、データ・コード・ブロックの信号対雑音比を表わす、請求項2に記載の方法。

【請求項4】

ホログラフィックストレージ媒体（6）に記録されたフーリエ・ホログラム（7）を読むためのホログラフィックストレージシステム（1）であって、該システム（1）は、参照ビーム（3）生成手段と、ストレージ媒体（6）受取り手段と、再構成されたホログラムを検出する検出器（5）とを備え、さらに、請求項1から3のいずれかに記載の方法を実行するためのサーボ制御ユニット（14）を備える、ホログラフィックストレージシステム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

この目的は、請求項1に記載の方法、及び請求項4に記載のホログラフィックストレージシステムによって達成される。